

SONY SUZUKI 「インストゥルメンタル・ユース」

会期：2020年9月5日（土） - 9月22日（火）

会場：DIGINNER GALLERY

DIGINNER GALLERY（ディギナーギャラリー）は、9月5日（土）から9月22日（火）まで、ネオグラム画家ソニー・スズキの個展「インストゥルメンタル・ユース」を開催いたします。およそ2年ぶり3度目となる本展では、ソニー・スズキ初となる画集「インストゥルメンタル・ユース（論創社）」の出版記念として、画集の販売、掲載しているペインティング作品、新作のコラージュ作品、シルクスクリーン・プリント作品を発表いたします。

ソニー・スズキは1996年に渡米し、2001年に帰国するまでの間、NYブルックリンに在住しながら、時には学校に通い、時にはアーティストに師事しながら、あらゆる技法を取得し、これまでに様々な作品を残し発表してきました。

帰国後、某メーカーに就職し、仕事に忙殺され筆を一旦置くことになりました。

数年後、仕事に落ち着きが生まれたことにより、ふつふつと描きたい衝動が抑制できなくなり、アート活動を再開することになりました。イラストの仕事や、アパレルデザインなどをこなし、十分な有酸素運動を経て、遂に本道たるペインティング作品に勤しむことになりました。少女漫画や手塚漫画にインスパイアされた具象作品は、ジェンダーの性差を排除した人々が、画面上でフェミニンな色気とロックな男気を同居させ、抑圧的な社会の中でも自由奔放に生きれることを示唆しています。

2011年から2019年までに、5度の個展と、3度のグループショーを経たことで、その特異な画風に備わる色気、ジョーク、ロックなイメージは更に磨きがかかってきています。

本展ではアクリル画のキャンバス作品とレトロ・シールをモチーフにした木彫作品「シールの彫刻」シリーズ、そして最新作のデパートの使用済み紙袋を再利用したコラージュ作品、絵画と、書籍に収録した作品を中心に発表します。制作プロセスや素材の変化によって、これまでに蓄積されたソニーの経験と、本質が一層際立ち、また新たな段階へと昇華される様を、皆様にぜひご高覧頂きたいと思っております。

■プロフィール

SONY SUZUKI / ソニー・スズキ

略歴：

1969年：東京都生まれ

1996年：渡米。ブルックリンNY在住

2001年：帰国

展覧会歴（近年）

2011： 「ハンサム」 @Art Center Ongoing (Tokyo)

2016： 「No Balance」 @Tamboulin Gallery (Tokyo)

2017： 「Like A Delightful Hell On Earth」 @Diginner Gallery Workshop (Tokyo)

グループショー 「ギャラリー・バードハウス」

@茅野市美術館 (Nagano)

2018： 「コマンキーパークの休日」 @Art Center Ongoing (Tokyo)

「A Retrospective (1998-2000)」 @ Digger Gallery Workshop (Tokyo)

グループショー 「Pierre Records Two」 @THE CONRAN SHOP (Tokyo/
Fukuoka) & BEAMS (Tokyo)

2019 : グループショー 「アナザーサイド・オブ・テヅカ」 @TOKYO CULTUART by BEAMS (Tokyo) and
The Little Hut (Taipei)

是非、貴誌・貴社にてご紹介下さいますようお願い致します。ご質問がございましたら下記までお問い合わせ下さい。

DIGGER GALLERY 担当：鈴木宏信

〒152-0035 東京都目黒区自由が丘1-11-2 Tel. +81(0) 3 6421 1517

E-mail: contact@digger.com Web: www.digger.com

営業時間：12:00 - 20:00 / 最終日17:00 定休日：毎週月曜

